

自己評価報告書

平成23年 5月11日現在

機関番号：10102
研究種目：基盤研究(B) (海外学術調査)
研究期間：2008～2011
課題番号：20402042
研究課題名 (和文) 障害児者の余暇・自立支援に関する地域システムの構築
：ドイツの教育・福祉から
研究課題名 (英文) Construction of community support system with free time activity for persons with disability
：Analysis of education and social welfare in Germany
研究代表者
安井 友康 (YASUI TOMOYASU)
北海道教育大学・教育学部・教授
研究者番号：00260399

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：社会福祉学

キーワード：ドイツ、地域支援、特別支援学校、余暇支援、スポーツ、体育、障害者福祉

1. 研究計画の概要

本研究では、多様なニーズを持つ子どもを含めた学級やクラブ、余暇支援活動における教師や支援者の運営・関わり方、クラスや組織内の構成員の相互関係などについて、調査を行うものである。そのため学校と地域の余暇スポーツ支援システムに関する象徴的な取り組みを行っているベルリン市州、ニーダーザクセン州の学校、余暇活動支援施設、地域クラブなどを対象に、その組織、構成員等の取り組みや意識に対する聞き取りを行うとともに、実際の活動場面の映像記録を通して分析を行う。

2. 研究の進捗状況

(1)平成20年度の調査では、ベルリン市州、ニーダーザクセン州を対象に、それぞれの地域で、多様なニーズを持つ子どもを含めた学級やクラブ、余暇支援活動における教師や支援者の組織運営・関わり方、学級や組織内の構成員の相互関係などについて、これらが時間経過とともにどのように変化するのか、縦断的にとらえるための基礎的な資料収集が行われた。ベルリン市州では、インクルージョン教育の先進校(フレーミング基礎学校)と移民・生活保護地区の学校(ヴェッディング基礎学校)を対象に、授業(スポーツ・余暇・地域生活移行関係)学校の観察、教師・関係者のインタビュー、ビデオによる記録と分析を実施した。ニーダーザクセン州では、学校、福祉施設(リンデン特殊学校、ヤースシュ・コルチャック特別支援学校、実科学校、基幹学校)を対象に、校内システム、指導法・教材の分析、教師インタビューを実施した。

またスポーツに関連する授業方法や留意点、地域スポーツへの広がりなどについて調査を行った。

(2)平成21年度の調査では、ニーダーザクセン州を対象に、余暇支援活動における支援者の組織運営・関わり方などの相互関係について、さらに幼児期からの支援に関連し、地域スポーツへの広がりなどについて調査を行った。またベルリン市州では、インクルージョン教育に関する継続調査とともに福祉法人と地域行政機関の協力で行われている余暇支援活動(ディスコクラブなど)への訪問調査、障害者の総合型地域スポーツクラブ(SGH)が行っている各種目のスポーツ活動、車いすバスケットボールイベントなどの調査を行った。

(3)平成22年度の調査では、ニーダーザクセン州のリンデン学校、ヤースシュ・コルチャック支援学校、職業学校(キビナン)を訪問し、教育的支援の変遷や現状について継続調査を行った。ベルリン市州では、継続調査とともに基礎学校卒業後の様子について調査するために、Oberschuleの調査を行った。また福祉法人と地域行政機関の協力で行われている余暇・就労支援や情報提供機関(Blisse14)、旅行や余暇支援機関への訪問調査、障害者の総合型地域スポーツクラブ(SGH)が行っているスポーツ支援活動などの調査を行った。

3. 現在までの達成度

①当初の計画以上に進展している。

(理由)

長期にわたる入念な事前準備を行うとともに調査計画に沿って調査資料の収集を進めたのに加え、調査地の学校や福祉関係者から想定以上の協力が得られたことから、予想を上回る調査資料を収集することができたため。

4. 今後の研究の推進方策

(1) 収集された資料についての整理分析：地域特性や学校種等による教育と余暇支援の関係について分析を進める。

(2) 分析結果の学会報告 (ISAPA、日本特殊教育学会、JASAPE) と論文発表、著書による公表などを行う。

(3) 日本における教育、福祉支援の内容と比較検討を行うことにより、今後の地域支援システムの構築に向けたより具体的な資料を得ることができると考えられることから、日本の調査と平行させた調査に発展させることを計画している。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕 (計6件)

① 安井友康、千賀 愛、山本理人、リンデン 特別支援学校の教育実践と分教室による共同教育－ニーダーザクセン州ローテンブルク地域の調査から－、北海道教育大学紀要 (教育科学編)、第61巻第2号、61-76、2011、査読無し

② 山本理人、安井友康、越川茂樹、ベルリン市州における地域スポーツクラブの活動－小規模クラブならびに障害者の活動に焦点を当てて－北海道教育大学紀要 (教育科学編) 59(2)、95-110、2009、査読無し

③ 安井友康、千賀 愛、山本理人、ドイツ・ベルリン市州のインクルーシブ・スポーツ授業－フレーミング基礎学校の取り組みから－障害者スポーツ科学、7(1)、93-106、2009、査読有り

④ 安井友康、千賀 愛、ドイツ・ベルリン市州の移民・貧困地域におけるインクルーシブ校の実践－ヴェッディング基礎学校の取り組み－、北海道教育大学紀要 (教育科学編)、第59巻第1号、163-177、2008、査読無し

⑤ 安井友康、ドイツ・ベルリン市州における障害者の地域スポーツ活動、障害者スポーツ科学、Vol.6(1)、40-50、2008、査読有り

⑥ 千賀 愛、安井友康、ドイツ・ニーダーザクセン州特別支援学校における発達障害児の支援－ヤーヌシュ・コルチャック特別支援

学校におけるセンター的役割と移行支援を中心の一、北海道特別支援教育研究、第2巻第1号、45-57、2008、査読無し

〔学会発表〕 (計5件)

① 安井友康、ドイツにおける余暇・スポーツと Psychomotorik (心理－運動法)－学校、スポーツクラブの調査から－第31回医療体育研究会・第14回日本アダプテッド体育・スポーツ学会・第12回合同大会、2010年12月5-6日、富山大学、

② 安井友康、障害者の余暇・スポーツ支援者養成と地域スポーツ－ドイツ・ベルリン市州の地域スポーツ活動から－第30回医療体育研究会・第13回日本アダプテッド体育・スポーツ学会・第11回合同大会、2009年、11月8日、国立オリンピック記念青少年総合センター

③ 安井友康、地域における障害児者の余暇支援システムの構築－ドイツ・ベルリン市州の余暇支援センターの調査から－日本特殊教育学会第47回大会、2009年9月20日、宇都宮大学

④ 安井友康、ドイツにおける障害児者の地域スポーツクラブの活動について第8回北海道障害者スポーツ・健康開発研究会、2008年12月13日、北海道教育大学岩見沢校

⑤ 安井友康、アダプテッド体育・スポーツの国際動向と日本の将来展望、第29回医療体育研究会／第12回日本アダプテッド体育・スポーツ学会、第10回合同大会、2008年12月7日、京都女子大学